

はにわ通信

No.378 令和8(2026)年 9月号

埴輪づくりは
奥が深いです。



【埴輪を作ってみた！ No.1 土だけだと爆発するかも・・・】

埴輪は、作られた場所や時期、さらに作り手によって形や特徴が異なると言われています。しかし、よく観察すると、かなり共通している部分があることも分かります。ガイドをしていると、埴輪作りに関する質問をたくさんいただくことがあります。そこで、松阪市文化財センターで作ったミニミニ円筒埴輪を基に、皆さまの質問にお答えしたいと思います。



粘土と砂を混ぜたもの

(Q) 埴輪って何からできているの？

(A) 粘土+砂でできています。

粘り気のある細かい粘土が本来は適していますが、急激に火力が強くなると、粘土に残っている水分が膨張し、外へ逃げる隙間がないために破裂してしまうことがあります。破裂を防ぐためには、水分が外に出るための隙間を作ることが重要です。そのため、粘土に荒い砂などを混ぜます。ただし、砂を混ぜすぎると形が作りにくくなってしまいます。そのため、粘土と砂をどのくらいの割合で混ぜるのが非常に重要になります。

【松阪の発掘された遺跡⑥：前田町屋遺跡「二重口縁壺形埴輪」登場！！】

松阪市星合町の前田町屋遺跡は雲出川の河口から約2.5km上流の右岸、標高約2mの微高地上にあります。発掘調査の結果、古墳時代前期（約1700年前）のお墓が4基確認されました。

1号墓の周溝からは土師器二重口縁壺・瓢壺・小型器台・小型高坏、朱の付いた石杵が見つかりました。

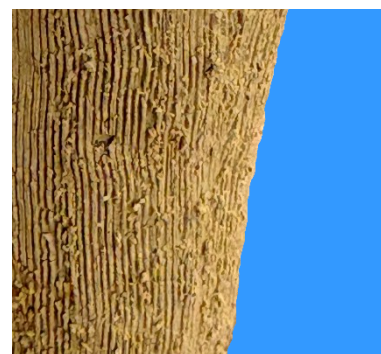
前田町屋遺跡で見つかった二重口縁壺は内外面を部分的にベンガラによって赤く塗り、壺の底は土器を焼いた後に実用の壺とは区別して古墳に供えるために孔があげられていました。

このような壺を「二重口縁壺形埴輪」と呼んでおり、松阪市内では深長町の深長古墳、大足町の大足2号墳でも見つかります。当地域の前期古墳で円筒埴輪を巡らす以前の段階の古墳祭祀の様子がうかがえる貴重な遺跡です。



二重口縁壺
前田町屋遺跡（星合町）
三重県埋蔵文化財センター提供

【埴輪を作ってみた！ No.2 埴輪の表面をよく見ると・・・】



埴輪についているハケメ

(Q) 円筒埴輪の表面の線って何？

(A) 木の年輪の筋がついた跡です。

埴輪の表面にあるたくさんの筋は、ハケで表面を整えた際に、木の年輪の筋が刻まれてできた跡で、「ハケメ」と呼ばれます。

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 ※夏季企画展開催期間（～9月6日）は 入館料200円 18歳以下無料
開館時間9:00～17:00 入館は16:30まで

第2展示室 夏季企画展 「宝塚1号墳その後 ～古墳時代中後期のまつさか～」

7月25日（土）～ 9月 6日（日）

センター内 ポイントラリー

9月 5日（土）、 9月 6日（日） 9時半～16時

【ギャラリー】 入場無料

第1～3G ◆令和8年度 松阪市児童生徒科学作品展

9月 5日（土）、 9月 6日（日） 9時～16時

第2G ◆林隆久・杉田祐吾写真展 ヨーロッパアルプスに魅せられて

9月10日（木）～ 9月16日（水） 9時～17時 ※初日13時から、最終日は15時まで

第1G ◆第31回 ニッコールクラブ松阪支部写真展

9月11日（金）～ 9月13日（日） 10時～17時 ※最終日は16時まで

第3G ◆第7回みえび展

9月15日（火）～ 9月20日（日） 10時～16時 ※最終日は15時まで

第1・2G ◆No Photo No Life 写真展・華火写真展

9月18日（金）～ 9月22日（火・祝）9時～16時50分

※最終日は16時まで

< 9月の休館日 7日（月） 14日（月） 24日（木） 28日（月） >

【発行】松阪市文化財センター

【 ☎ 】0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【 FAX 】0598-26-7374

【 HP 】 <https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

